

軍事史研究の現段階と今後の課題

2020

2/12 (水)

15:00~18:00

立命館大学
国際平和ミュージアム 2階
ミュージアム会議室

事前予約は不要です。
直接会場へお越しください。

発表

原田 敬一

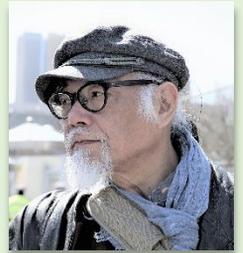
(佛教大学名誉教授)

発表者プロフィール

原田 敬一(はらだけいいち):
佛教大学名誉教授。

専門は都市史、軍事史、軍事と地域社会の研究。

主要著書として、『国民軍の神話』(吉川弘文館、2001年)、『日清・日露戦争』(岩波新書、2007年)、『日清戦争』(吉川弘文館、2008年)、『坂の上の雲』と日本近現代史』(新日本出版社、2011年)、『兵士はどこへ行った』(有志舎、2013年)、『戦争』の終わらせ方』(新日本出版社、2015年)。また編著者としてシリーズ『地域のなかの軍隊』(吉川弘文館、全9巻)に関わる。最新の編著に『近代日本の軍隊と社会』(吉川弘文館、2019年)。



コメント

中島 弘二

(金沢大学大学院人間社会環境研究科教授)

コメンテータープロフィール

中島 弘二(なかしま こうじ):

金沢大学大学院人間社会環境研究科教授。

専門は自然の地理学(geographies of nature)。

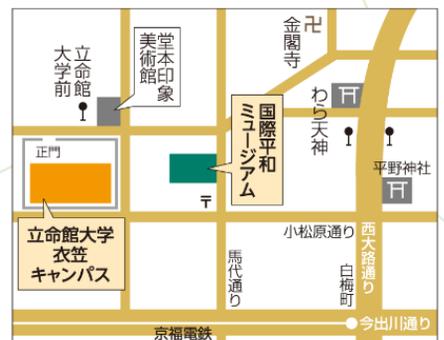
著書・論文として「泥、石、身体:身体と物質性をめぐるポリティクス」

(『空間・社会・地理思想』17、2014年)、「基地問題をめぐる人々と

環境の関わり: 沖縄県辺野古の海上基地建設問題を事例として」

(浅野敏久・中島弘二編『自然の社会地理』海青社、2013年)、「日

本植民地主義と自然」(『生物学史研究』No84、2010年)ほか。



【交通案内】

市バス12・15・50・51・52・55・59、JRバ

ス「立命館大学前」下車、徒歩5分

市バス204・205「わら天神前」下車、

徒歩10分

※駐車場はありません。

お車でのご来館はご遠慮ください

【問い合わせ】

立命館大学国際平和ミュージアム 平和教育研究センター

☎ 075-465-8354

✉ peaceins@st.ritsumei.ac.jp

本研究会は、基地問題を語る際に生じる自衛隊と米軍の区分を批判的に捉え直し、地域社会の歴史性から基地問題を語る新しい回路を模索するプロジェクトです。